令和3年度潟上市行政評価に係る

外部評価報告書

（集中協議5事業について）

令和3年11月24日

潟上市行政改革推進委員会

行政改革推進委員会で集中的に協議した事業の外部評価について（５事業）

１．対象事務事業名

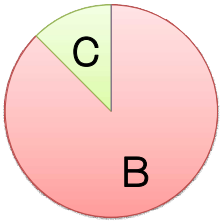
事業No.	1

事業名	事業者継続支援金	担当	産業課　商工観光班
施策	商業の振興		
経済対策との関係	Ⅱ－３．事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援		

２．内部評価結果（担当部署の評価）

①事業の効果	【申請件数】972件（市役所819件、商工会153件） ※計画数（1,130件）に対する申請率86.01％ 市内に事業所を有する法人　335件 市内に事業所を有する個人事業者　592件 市民で市外に事業所を有する個人事業者　45件 相談件数（電話／窓口）　818件（市役所381件、商工会437件） 【効　　果】支援を行ったことにより事業の継続及び市民の雇用の場の確保の一助になったと思われる。
②課題	・新型コロナウイルス感染症の影響が長引いており、今後市内事業者等の事業継続に影響が出ないか懸念される。
③今後の方向性	・新型コロナ感染症拡大の影響から売上の減少と経費増加による収益減の声が多く、継続的な経済支援を求める声もあったことから、事業者への影響も注視しつつ、事業再編及び再構築や雇用の維持確保の観点での施策を図っていく必要がある。

３．各委員の評価結果の集計

全体評価	集計グラフ	評価項目	内訳
B		A 効果があった	0.0%
		B 概ね効果があった	87.5%
		C 事業の必要性はあるが、改善点や課題がみられた	12.5%
		D あまり効果が得られなかった	0.0%

４．外部評価結果（行政改革推進委員会の評価）

主な評価コメント等
・新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者への給付金の支給は、事業を継続していくうえで売上減少補填の一助となった。 ・事業継続を目的とする支援であることからその一助になったと思うが､減収補填の域にあると認識される。事業の効果を知るうえで、モニター等を設け実情の把握と今後の事業の参考にしても良いのではないか。

５．その他評価コメント等

・今後の動向を注視しながら、継続的な支援が必要。

・コロナウイルス感染症の影響が少ない市内企業もあるため、申請率86.1%で妥当であると考える。

１．対象事務事業名

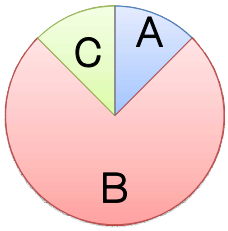
事業No.	5

事業名	情報発信強化・アクセシビリティ向上事業	担当	企画政策課　広報統計班
施策	広報広聴活動の充実		
経済対策との関係	Ⅰ－６．情報発信の充実		

２．内部評価結果（担当部署の評価）

①事業の効果	・ＣＭＳ更新によって不要なページや情報が整理され、目的のページへたどり着きやすくなった。新型コロナウイルス感染症関連情報に関するページは、トップページから容易にアクセス可能となっており、ワクチン接種や関連事業など一元的に情報発信を行っている。 ・アクセシビリティチェック機能により、高齢者や障がい者に配慮したホームページ画面となっている。 ・アクセス件数は月平均約22,000件増加している。
②課題	・感染症関連情報や市政情報の迅速な情報発信のため、市職員のＣＭＳ操作能力向上に努めていきたい。
③今後の方向性	・ホームページ内容の充実はもちろん、利用者の利便性向上のためオプション機能の追加なども検討し、感染症関連情報や市政情報の迅速な情報発信を継続して行う。

３．各委員の評価結果の集計

全体評価	集計グラフ	評価項目	内訳
B		A 効果があった	12.5%
		B 概ね効果があった	75.0%
		C 事業の必要性はあるが、改善点や課題がみられた	12.5%
		D あまり効果が得られなかった	0%

４．外部評価結果（行政改革推進委員会の評価）

主な評価コメント等
・アクセス件数が22,000件増加しているようだが、その内容も重要である。 情報の波及効果により一層努めていただきたい。 ・デジタル機器を苦手とする方もいるので、全てデジタル化とするのではなく、必要に応じてアナログ方式（紙媒体による周知や申請等）も併用するなど、デジタル機器を苦手とする方への配慮もお願いしたい。

５．その他評価コメント等

・ホームページ利用者以外の対象者への広報等のあり方についても検討を要するのではないか。

１．対象事務事業名

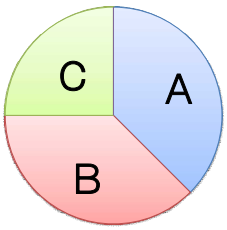
事業No.	11

事業名	健診予約ＩＴ化事業	担当	健康推進課　健康づくり班
施策	計画的な健康づくりの推進		
経済対策との関係	Ⅳ-３．リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速		

２．内部評価結果（担当部署の評価）

①事業の効果	・集団住民健診を定員を設けた申込み制で実施したことで、健診会場では密閉・密集・密接を避ける等の充分な感染症予防対策を講じることができ、感染への予防や感染拡大の防止を図ることができた。 ・健診予約をＷｅｂ上で管理できる体制を構築することができた。また、Ｗｅｂ上の予約情報と既存の健康管理システムのデータが連動できたことで事務の効率化が図られた。
②課題	・申込方法としてＷｅｂ利用者が少ない（3.2%）。
③今後の方向性	・集団住民健診を実施するにあたり、充分な感染症対策を講じることと健診受診体制の利便性を提供するために継続する。 ・健診予約ＩＴ化によりＷｅｂ上で健診予約ができることを市民へ周知し、Ｗｅｂ利用者の増加に努める。

３．各委員の評価結果の集計

全体評価	集計グラフ	評価項目	内訳
B		A 効果があった	37.5%
		B 概ね効果があった	37.5%
		C 事業の必要性はあるが、改善点や課題がみられた	25.0%
		D あまり効果が得られなかった	0.0%

４．外部評価結果（行政改革推進委員会の評価）

主な評価コメント等
・現状の利用は3.2%と少ないが今後確実に増加していくものと考えられる。 ・年齢を問わず誰でも簡単にＷｅｂ予約できるよう、広報等で予約方法について詳細に紹介し、市民へ更なる周知をしていただきたい。

５．その他評価コメント等

・情報発信が足りなかったので、周知と利用拡大の促進を図ってほしい。

1．対象事務事業名

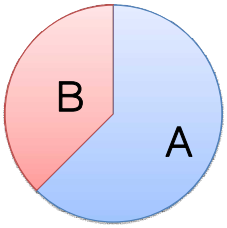
事業No.	14

事業名	集会施設環境整備事業	担当	財政課　集会施設管理班 市民センター
施策	適正な公共施設の維持管理と整備		
経済対策との関係	Ⅰ－1．マスク・消毒液等の確保		

2．内部評価結果（担当部署の評価）

①事業の効果	・対象施設数：38施設　　※集会施設…12施設、分館・児童館…26施設 ・冷暖房設備設置及びロスナイの整備によって感染予防が強化された。 ・利用者が安心して使用できる環境を提供することができ、市民の地域活動及び交流の場の確保につながった。
②課題	・特になし。
③今後の方向性	・今後は設備の故障や経年劣化による更新に対し、随時対応していく。 ・施設内感染を防ぐため、利用者に対する定期的な換気や３密を避けた利用方法等について継続的に注意喚起を行っていく。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により地域活動が制限されているため、設置機器の適切な使用方法の周知に努めながら、「新しい生活様式」に基づいた地域活動を支援する。

3．各委員の評価結果の集計

全体評価	集計グラフ	評価項目	内訳
A		A 効果があった	62.5%
		B 概ね効果があった	37.5%
		C 事業の必要性はあるが、改善点や課題がみられた	0.0%
		D あまり効果が得られなかった	0.0%

4．外部評価結果（行政改革推進委員会の評価）

主な評価コメント等
・環境整備を図ったことで、感染症の拡大防止及びコロナ禍における市民の地域活動や文化活動の継続を支援することができたのではないか。 ・今後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を注視しつつ、施設へのマスクや消毒液等の購入・設置について検討をする必要があるのではないか。

5．その他評価コメント等

・総合管理計画個別施設計画において将来的な廃止・解体を予定している施設であっても、その時期が未定であるため設置の対象としていることは理解できる。総合管理計画個別施設計画に関しては、所管課のみでなく市全体で施設の整理統合について精査してほしい。

１．対象事務事業名

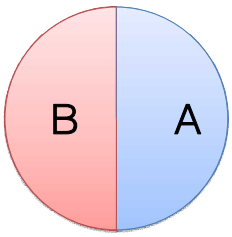
事業No.	19

事業名	学校ＩＣＴ環境整備事業	担当	学校教育課　管理班
施策	教育環境の整備・充実		
経済対策との関係	Ⅳ-３．リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速		

２．内部評価結果（担当部署の評価）

①事業の効果	・ＧＩＧＡスクール構想の実現に必要な機器を導入したことによって、全ての児童生徒の学びを保障する環境の整備を進めることができた。 ・理科の授業で台風や実験の動画を１人１台端末で見たり、家庭科の授業で手縫いの仕方を実物投影機で拡大して見せたり、生活科の授業でアサガオの観察写真を電子黒板に拡大して見せたりして、ＩＣＴ機器を利用して、児童生徒の理解を深めることができた。
②課題	・教職員のＩＣＴスキル向上、児童生徒数に応じた機器の移動や維持管理等に係るコスト
③今後の方向性	・教育委員会及び教職員が利用するＩＣＴ機器を現環境に適した機器に更新することによって、ＧＩＧＡスクール構想の実現に努める。

３．各委員の評価結果の集計

全体評価	集計グラフ	評価項目	内訳
B		A 効果があった	50.0%
		B 概ね効果があった	50.0%
		C 事業の必要性はあるが、改善点や課題がみられた	0.0%
		D あまり効果が得られなかった	0.0%

４．外部評価結果（行政改革推進委員会の評価）

主な評価コメント等
・インターネット環境が整っていない家庭もあるかと思う。児童生徒の環境の違いによって、学習機会の差などが生じることのないよう慎重に進めていただきたい。

５．その他評価コメント等
